

学校 教育 目標	未来をきりひらこう! やさしい言葉がこぼれわたる 学び合う楽しさの中で自ら問題を発見し、知識や経験を活用しながら追究していく力を育てます。(知) 人と豊かに関わり合いながら、自他を大切にできる態度を育てます。(徳) 自他の命を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) 他者と協働する経験を通して、夢や目標をもち、地域や社会のために行動する力を育てます。(公) 間違いを恐れずにチャレンジする経験を通して、グローバルな視野で共に生きていく力を育てます。(開)			
	学校 概要	創立 149 周年 児童生徒数: 956 人	学校長 大谷 珠美 主な関係校: 戸塚中学校 矢部小学校 東汲沢小学校	副校長 瀧川 文子 2 学期制 一般学級: 26 個別支援学級: 11

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	戸塚中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に生きる力	戸塚中学校 矢部小学校 東汲沢小学校	自ら学び、人のかかわりを通して、自分らしく心豊かに生きていく子
		①合同授業研究会・研修会を通して、ブロック内学校の授業改善・授業力の向上を図る。 ②豊かな表現力の育成を目指して、児童生徒のコミュニケーション力を高める教育の工夫と改善を図る。 ③教育活動や地域交流を通して、自己有用感を高める教育の工夫と改善を図る。

中期 取組 目標	学校を積極的に開き、保護者や地域の方とともに子供を育てる風土を作ります。 積極的に人と関わり自らの思いを伝えるときも他者の思いも受け止められるような子供に育てます。 物事の善悪を判断し、自ら積極的に人や地域と関わり行動する子を育てます。 教職員の資質の向上を図り、学校組織が協働して子供を育て、地域と関わっていきます。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて はたらく知	①子どもが意欲をもって主体的に学び続ける姿を目指し、「戸塚小で育てたい資質・能力(ぐるぐる)」の育成を目指した授業づくりを行います。 ②「戸塚小で育てたい資質・能力(ぐるぐる)」を絶えず更新し、資質・能力を系統的・段階的に育成できるような教育課程を構築します。 ③授業の中に、獲得した知識・技能を実際に活用できるような場面を取り入れ、実生活と学習のつながりを見ることが感じられるような教育課程を展開します。
徳	豊かな心	①授業の中で話し合い活動を充実させ、多様な考え方を認め合う共生の感覚やコミュニケーション能力の育成を図ります。 ②音楽集会、朝読書、図工の作品展示などの充実と努め、子どもたちの情操を高めます。 ③ふれあい活動での異学年との関わりや、様々な体験活動を通して、思いやりの心や規範意識を育てます。
体	健やかな体	①体育科学習や体力テストを通して、自分の体力や命について関心をもち、体や命を大切にしようとする心をはぐくみます。 ②学級指導の中で感染症予防を重点的に指導し、安全・安心に学校生活を送り、健康な心と体をつくることを目指します。 ③給食を中心教材にし食育を進め、自分の体や命について考えるようにします。
公	地域連携・ 学校運営協議会	①学校・地域コーディネーターを窓口として、保護者や地域のボランティアを広く公募します。そして募ったボランティアさんの協力を得ながら学習や行事などを安全に進めていきます。 ②学校運営協議会を通して、学校と地域の方と情報共有や協力体制がとれるようにし、地域の特色を生かした学校づくりが進められるようにします。
いじめへの対応		いじめは絶対に許さないという共通理解のもと、いじめの未然防止を図り、早期発見・早期対応に組織的に取り組みます。 ①子どもの個性や多様性「その子らしさ」を認め、居心地のよい学校・学級風土づくりに努めます。 ②いじめの定義を再認識し、教職員の人権意識を高める研修を行います。 ③「あいさつ」の輪が広がるよう支援し、人との関わりを大切にすることを子どもの育成に努めます。
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンター研修にミドル・ベテラン層職員が積極的に関わり、情報を共有しながら、経験の浅い職員の指導力やスキルを高めます。また、教育委員会等で開催する研修にも参加し、活用していきます。 ②情報共有システムを十分に活用し、打合せ・会議の効率化と会議時間の削減にさらに取り組んでいきます。新しい教育課程を実施していく中で、カリキュラムマネジメントを進め、行事等の配列や系統性について改善を図ります。 ③教職員数が多いという長所を生かして、組織を有効的に機能させるよう努めます。
特別支援教育		①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、合同打合せを積極的に行い、連動を図ります。 ②個別支援学級の環境整備のよさなどについて学ぶ研修などを通して、ユニバーサルデザインについて理解し、指導に生かします。 ③授業に参加できない状況にある児童はいないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく授業に参加できるように支援します。
担当	研究研修部	
担当	人権福祉児童指導部	
担当	体育部	
担当	教務部	
担当	人権福祉児童指導部	
担当	主幹会	
担当	特別支援委員会	